

海老名市立柏ヶ谷中学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第1回)

- 1 日時 令和7年5月20日(木) 13:30～15:30
- 2 場所 海老名市立柏ヶ谷中学校 第一会議室
- 3 出席委員 澁谷清美委員長、橋本絵美里副委員長、森山輝男委員、稲葉常春委員
飛矢崎義基委員、海野望委員、大貫直子委員、小宮洋子委員

4 会議の内容

(1) 委員長挨拶

澁谷委員長：生徒のためになるような活動ができるように、情報交換、情報共有をしていきたい。

(2) 委嘱状交付、自己紹介

4月より新規委員になられた稲葉委員、海野委員へ委嘱状の交付。各自自己紹介。

(3) 学校の様子について

小宮校長：現在の生徒数は600人。昨年度より30人くらい少ない。4月は学年が上がり、頑張ろうという姿が見られた。不登校傾向の生徒を増やさないようにしていきたい。トラストクラスに担任を置くことにした。

(4) 令和7年度の学校運営について

小宮校長：学校教育目標を「未来を生き抜く生徒の育成～たくましく生きる、共に生きる、豊かに生きる～」とした。昨年4つだったグループを6つに細分化し、若手のグループリーダーにグループで取り組むミッションを与えた。昨日の職員会議でもグループから新たな提案事項が出るなど、グループでの話し合いや取り組みが活性化している。

～質問・意見特になく、承認。～

(5) 柏ヶ谷中学校運営協議会実施計画について

小宮校長：令和6年度のをベースとして今年度も『地域に関わり、地域に貢献できる中学生』の育成にむけた取組の研究』を協議事項として取り組んでいきたい。

～質問・意見特になく、承認。～

(6) 柏ヶ谷中学校50周年記念事業について

海野委員：「地域とともに歩む柏ヶ谷中学校」をテーマとして記念式典のみでなく通年事業として実施していく。事業の柱として、「地域の方が柏中へ」、「柏中生が地域へ」、「記念誌、記念品」としているが、中でも「柏中版学校応援団」の設立をすることで、生徒や先生の応援ができる。これをきっかけとして、地域にとっても、生徒にとっても、先生にとっても、保護者にとっても、よいことができるようになっていけばと思う。

飛矢崎委員：小学校にはあるが、中学校にはない学校応援団の組織。柏中でよい結果をだすことで他の学校へも広がっていけばよい。

(7) 情報交換

稲葉委員：長寿会の見守り隊について、暑さが課題となっている。大学留学生との交流ボランティアをやっている。ノウハウ等、何かこの会の役に立てれば。

森山委員：自治会としては中学生に力を借りたいと思っているが、土、日、夏休みとなってしまうので難しいか。

海野委員：PTAの現状。任意加入になってこれからどうやって行くかが課題。加入率は約50%。新たな形を作り上げていくよい機会だと思っている。

稲葉委員：コロナで世の中変わった。良いことも悪いこともあるが、機会としてとらえることも大切。

大貫委員：PTAについては、小学校で再度加入の意思確認をしたらかなり人が戻ってきたので中学校でもやってみたが、増えなかった。自治会も同じで加入率低下が続く。

森山委員：子ども会がなくなったのも、そういう一環であり、残念。

(8) 今年度の学校運営協議会の日程について

- ・第2回…令和7年7月11日（金）13:30
- ・第3回…令和7年10月6日（月）14:30
- ・第4回…令和7年11月11日（火）13:30
- ・第5回…令和8年2月18日（水）13:30

(9) その他

- ・海老名市コミュニティスクール研修会兼中学校区学校運営協議会について
- ・生涯学習指導者研修「学校と地域との協働推進コースについて」